



10月のほけんだよ!

令和6年10月号
第一ルンビニ園

澄みきった秋空に風も心地良く、活動しやすい季節を迎えました。日中の日差しはまだ強い日もありますが、吹く風もさわやかで、子ども達も園庭でおもいっきり身体を動かして遊んでいます、衣服の調節をしながら、薄着を習慣づけて丈夫な体づくりをしていきましょう。

《 園児の健康状況 》

- ☆ 9月は、全体的にお休みするお子さんも少なく元気に登園できましたが、朝・夕と急に気温が下がり涼しくなったこともあり、鼻水や咳等の風邪症状のお子さんが少しずつ増えてきました。長引くと中耳炎や肺炎等もおこしやすくなりますので、症状の軽いうちに早めに受診するようにしましょう。
- ☆ 掲示にてお知らせしていますが、ゆり組（5歳児）で水痘（みずぼうそう）が1名でています。水痘・帯状疱疹ウィルスが原因でおこり、個人差はありますが、発熱と共にやわらかいところに発疹（水疱）ができて広がります。潜伏期間は約2週間くらいですのでお子さんの体調観察をよろしくお願いします。又、未感染で心配な方は予防接種もかかりつけ医と相談してみましよう。

★ 9月の体調不良児室利用状況

発熱・・・7人 腹痛・・・1人 咳・・・1人

利用人数・・・9人

乳幼児期は見る機能が発達する大切な時期です!!



目は胎児の時に最後に形成される器官といわれています。そして、視力は生まれてから外界の刺激を受け、目を正しく使うことによって発達していきます。生後4か月頃から両目でものを見ることができるようになり、1歳頃には視力が0.3程度に発達するそうです。その後早い子では3歳、遅い場合でも5～6歳には1.0近くに達して、視力が完成するといわれています。

乳幼児期は見る力が成長する大切な時期だということを認識しましょう。

**きちんと
受けましょう!
3歳児検診**

子どもは自分では、目の見え方がおかしいといったことはわかりにくいものです。まずは、目の異常を早期発見するために3歳児検診をきちんと受けることが大切です。検診によって早い段階で発見できれば、めがねによる矯正や訓練などによって視力を発達させることが可能になります。「早期発見、早期治療」が重要であることを理解しておきましょう。

子どもの目や見方に“おやっ?”と思ったら…

- テレビに近寄って見ている。
- 上目遣いにもものを見ている。
- まぶしそうにしている。
- 目を細めて見ている。
- 目を近づけて本を読んでいる。
- 何となく見えにくそうにしている。
- 片方ずつの目でテレビを見せてみた時に、どちらかの目で見えにくそうにしている。

普段の生活の中で左のような行動はありませんか？ もし、当てはまるものがあつたら、視力の低下などの疑いがあります。何か気になることや、おかしいなと思うことがあつたら、眼科を受診するようにしましょう。



★ 《 内科健診のお知らせ 》

10月3日（木）島田クリニック院長先生による内科健診を午後13時30分より行います。当日は欠席しないようにご協力をお願いします。ご質問やご相談のある方は担任または看護師までお知らせください。